

## 日本災害情報学会 2012 年廣井賞表彰理由

### 「学校安否情報」

(株)ニッポン放送

大災害時に AM ラジオを通じて児童・生徒の安否を学校単位で伝える独自の仕組みで、東京・神奈川の私立学校協会などと提携して 1981 年に開始して以来、毎年、受付訓練や模擬放送を行ってきた。東日本大震災で帰宅困難に陥った際、各校に残留する児童・生徒の安否情報を各家庭に伝え、保護者に多くの安心を届けた。昨今の IT の進歩をもってしても停電や輻照の影響、信憑性などの面からオールマイティな伝達方法はなく、今後さらなる発展が期待される。

### 「通れた道路マップ」

(特活)防災推進機構

本田技研工業(株)

(特活)ITS Japan

カーナビのリアルタイムプローブデータを用い、大災害発生時に重要な情報である通行可能な道路情報を迅速に提供する「通れた道路マップ」は、2007 年新潟県中越沖地震や東日本大震災などで一般向けに配信され、その有効性が実証された。三者が協力しあって実現した独創的な技術開発と実用化、民間ベースの社会貢献の実践といえ、災害情報分野におけるイノベーションとして高く評価される。今後、官民連携した社会システムとして定着化することが期待される。